



### 総合学科11期生 フレッシュマン・セミナー

# 雲南夢発見伝2014開幕



# 蒼雲

学校だより  
第84号

〒690-2404  
雲南市三刀屋町  
三刀屋912-2  
TEL : 0854-45-2721  
FAX : 0854-45-5630

夢を語ろう  
三高で!  
君の夢を叶える  
島根全県区の  
三刀屋高校です  
(総合学科は島根全  
県から入学できます)

▼人生で悲しむべきは、若い時  
の夢を叶えられなかったと  
よりも、若い時に夢を持たな  
かったことである。  
(ジャン・ジユネ)

SINCE 1924 三刀屋高校はお陰様で創立90周年/10月4日(土)創立90周年記念式典

## 三高生活と将来の青写真を描いた三瓶宿泊研修 4/23~25



フレッシュマンセミナー  
を終えて  
1年学年主任 石橋 一美  
4月23日から25日までの3

日間、国立三瓶青少年交流の  
家で宿泊研修(フレッシュマ  
ンセミナー)を行いました。  
日常を離れて集団生活を送る  
中で、進路についての自覚を

深めることを目標としてい  
ました。  
研修の中心は「仕事調べ」  
です。入学前説明会の時に  
行った進路適性検査の個人  
結果をもとに仕事調べを行  
いました。まず生徒それぞれ  
が具体的な仕事を選び、  
その仕事について、仕事内  
容、必要な資格、将来性な  
ど、色々な角度から調べま  
した。  
個人で調べたものを班と  
して持ち寄り、お互いに発  
表し合った上で、班として  
発表する職業を絞り、さら  
に調べを深めます。限られ  
た時間や資料の中ではあり  
ましたが、何とか形にして  
いきました。  
班活動で調べた内容を発  
表用シートにまとめ、クラ  
ス内で発表をしました。発  
表のあとには質疑応答の時  
間も設けられ、自分たちな  
りに考えて応えていました。

発表が終わると、ワークシ  
ートのわかりやすさ、発表態  
度などを真剣に評価してい  
ました。  
さらに、各クラス2班  
(2つの職業)ずつを選び、  
合計10班が講堂で学年発表  
されました。どの班もよく調  
べられており、実りの多い  
発表となりました。発表会  
では生徒が司会進行の役を  
行ったこともあり、学年全  
体で作り上げた雰囲気のある  
発表会となりました。聞  
く側も真剣に取り組んでい  
たように思います。

今回の仕事調べでは、今  
まで知らなかった職業を知つ  
たり、友達の見解を聞くこ  
とで職業に対する考え方が  
変わったりと、意義のある  
活動となりました。また、  
班内で役割分担をし、互い  
に協力し合いながら、クラ  
ス発表に向けて準備を進め  
ていました。  
また、研修1日目には、  
株式会社キッズ・コーポレ  
ーションの方に講演をしてい  
ただきました。自分の考え  
や伝えたいことを整理する  
ために、キーワードから連  
想される事柄を枝のように  
つないでいく「マップ」と  
いうものを用いるとよい、  
というお話で、実際に自己

紹介のためのマップを作り  
ました。本校では今回のよ  
うな発表作業の場が数多く  
設けられています。今後の  
ためにも大いに役立つ講座  
でした。  
夕食後は各クラスで自主  
学習に取り組みました。生  
徒は配布された課題プリン  
トに懸命に取り組んでいま  
した。日中の研修の疲れも  
ありましたが、とても熱心  
に取り組んでいました。

最終日は、三瓶登山を行  
いました。当日はとてもよ  
い天気で、クラスごとに山  
頂を目指して出発しました。  
皆一生懸命取り組み、2時  
間弱をかけて頂上に到達し  
ました。天候に恵まれ、頂  
上からの眺めは絶景でした。  
帰りも2時間ほどで下山し  
ました。生徒たちは疲れて  
はいましたが皆とても充実  
した表情で、達成感も見え  
ました。  
今回の研修の柱は「仕事  
調べ」でしたが、さまざま  
な職業があることやそれぞ  
れの職業の適性について知  
ることで、自分自身を見つ  
めなおす機会になったので  
はないかと思えます。また、  
集団生活を通して規律を守  
り他者を尊重することの重  
要性を感じとって  
くれたことと思  
います。研修で得ら  
れたことを日々の  
生活に生かしてい  
てほしいと思いま  
す。

入学式では、新入生を代表  
して難波夏里さんが「新しい  
仲間とともに夢や目標を実現  
させていくために、一日一日  
を大切に、勉強や部活動等  
に積極的に取り組み、悔いの  
ない3年間を送りたいと思  
います」と力強く誓いの言葉  
を述べた(4/9)。

### フレッシュマン・セミナー プログラム

4/23(水) —————  
入所式  
アイスブレイキング  
わくわくワークの解説  
進路適性検査  
仕事調べ(個人活動)  
マップ講座  
講師:脇田鉄樹氏  
(キッズ・コーポレーション)  
仕事調べ(班活動)  
学習・面談  
4/24(木) —————  
仕事調べ(班活動)  
仕事調べ(クラス発表)  
仕事調べ(学年発表)  
校歌練習  
学習・面談  
4/25(金) —————  
三瓶登山  
退所式



# 入学式 & 対面式



入学式後の対面式

## 出てこいよー 主役は君だ！！

平成26年4月9日

### 校長式辞

学校周辺では春を知らせる花が次々と咲き始め、陽春の息吹が感じられる季節となりました。まさに春爛漫の本日、三刀屋高等学校・後援会会長・雲南市長様、本校PTA会長様、島根県教育委員会教育長様を始め、多数のご来賓の皆様、並びに保護者のご臨席のもと、平成二十六年度入学式をこのように盛大に挙行できますことは、まことに喜ば

総合学科11期生を迎える平成26年度入学式が4月9日（水）午前10時半から挙行され、新入生143名が三高に仲間入りを果たした。式典では箏曲部の演奏をバックに新入生全員の名前が担任から読み上げられ、「入学許可」一校長式辞の後、新入生代表が誓いの言葉を述べた（前頁参照）。続いて来賓（14名）を代表してPTA会長の稲田晴信様、学校後援会会長の速水雄一雲南市長様（代理）／土江博昭雲南市教育長様から祝辞を賜り、1時間余りの入学式を終えた。

会場の体育館では1年担任団の紹介に続いて生徒会主催の「対面式」も行われ、前年度後期生徒会長の藤原魁人さん（3年）が歓迎の言葉を述べ、新入生を代表して堀江駿介さんが挨拶した（写真左上）。



新入生143名

しく、高いところからではありませんが、心からお礼申し上げます。ありがとうございます。さて、ただ今入学を許可しました百四十三名の新入生の皆さん、入学おめでとう。そして、よろこそ、三刀屋高校へ、心から歓迎したいと思えます。また、保護者の皆様、お子さまのご入学おめでとうございます。心からお喜び申し上げます。

本校は、大正十三年に開校した旧制三刀屋中学校から数えますと、今年でちょうど九十一年の節目を迎える、歴史と伝統を誇る学校です。また、平成十六年には普通科から総合学科へ改変を行いました。総合学科創設からちょうど十年が経ちました。

昨年二月に三刀屋高校はキャリア教育の実践が認められ、文部科学大臣表彰を受けました。地域の支援を受けながら、インターンシップや職業人講話、研修旅行、課題研究など、三刀屋高校のキャリア教育を高く評価していただきました。三刀屋高校の総合学科は、社会に貢献できる人材育成を目指しています。単に知識や技能を学ぶだけでなく、判断力や思考力、表現力や問題解決能力を習得しながら、「学ぶこと」と「生きていくこと・働くこと」とを結びつけ、社会に貢献できる人材育成を目指しています。

いる力を引き出し、社会に貢献できる人材として育てたいと考えています。早速、四月二十三日からは二泊三日で、三瓶山で「フレッシユマン・セミナー」を開催します。期待してほしいと思います。それでは、入学にあたり、ひとつだけお話しをしたいと思います。それは、チャレンジ「挑戦する」ということです。

皆さんは、「あなりたい」「あれができるようになりたい」ということを考えたことがあると思います。「今の自分ではいけない」と感じたこともあると思います。自分が変わること、自分を変えることができるのが「若さ・青春」の特権だと思います。「人前で物怖じせずしゃべりたい」「英語を得意科目にしたい」「親友を作りたい」など自らを変えて成長することに大胆であってほしいと思います。

私がかつて陸上部の顧問をしたことがあります。あるとき、三年生の送別会を開きました。その中で卒業生全員が一人ずつスピーチをしました。たが、その中の一人、「走り高跳び」を専門とするIさんは、こういう話しをしました。

「大会に向けて、例えば1m四十五を越える目標を立てて、練習を積み、大会で1m四十五を成功すれば、目標達成で嬉しい。でも、喜びもつかの間、すぐにバーは1m五十に上がる。目標を達成しても次の瞬間、また新たな挑戦が始まる。そして、大会はたとえ、

優勝しても必ず失敗で終わる。大会は必ず課題を残して終わり、さらに高い目標めざして練習を積みこくなる。この「走り高跳び」という競技を通して、自分は挑戦し続けることを学んだ。その後、大学を体験したが、走り高跳びでの「挑戦し続ける」経験があったからこそ、最後まで頑張れた。」という話をしてくれました。

君たちは無限の可能性を持っています。「自分はここまで」と線を引かず、失敗や挫折があってもいい。学習に、部活動に、読書にと、何事にも、受け身ではなく、チャレンジ精神を持って高校生活を歩んでほしいと思います。三刀屋高校は、君たちの「チャレンジ」を支援していきたいと思えます。

最後に、保護者の皆様にお願いを一つさせていただきます。これからの三年間の高校生活に私たちが教職員は全力を挙げて、お子さまの成長のために尽くしたいと考えておりますが、学校と家庭が一つになつてこそ、教育の成果は期待できるものです。ご協力とご支援賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

新入生の皆さんが「チャレンジ精神」あふれる充実した高校生活を送ることを祈念して、式辞とします。

平成二十六年四月九日  
島根県立三刀屋高等学校長  
恩田 佳雄



日	曜	学校行事等	部活等
10	土	本日PTA総会(登校日)	ソフトボール中国大会
11	日	学校開放	
12	月	中間試験1日目(1年午前中授業)	
13	火	中間試験2日目	
14	水	10日の振替休業日、学校開放	
15	木	中間試験3日目	
16	金	中間試験最終日、寮避難訓練	
17	土	高P連第1回評議員会(江津)	
18	日		
19	月		
20	火	壮行式	
21	水	1・2眼科検診	
22	木	人権同和教育LHR、2年歯科検診、総体激励週間(～6/8)	
23	金		放送NHKコンテスト地区予選
24	土		
25	日		
26	月		
27	火	3年内科検診、1年スタディサポート、7限授業	
28	水		
29	木	3年歯科検診	美術、書道コンクール
30	金		県高校総体(前期)
31	土		
1	日		
2	月		
3	火	3年内科検診、7限授業	
4	水		
5	木		
6	金	第1回英検	県高校総体(後期)
7	土		県中部地区吹奏楽祭
8	日	高P連安全互助会総会(松江)	
9	月	総体報告会、避難訓練、学習時間調査(～6/15)	
10	火	2年道徳教育LHR 3年人権・同和教育LHR 身体測定	放送NHKコンテスト県大会

5月

6月

### 水曜日だよ ピンポンパンポーン

お昼の校内放送の時間です



放送部

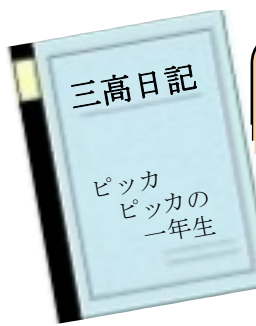
放送部では週一回、水曜日のお昼休みに校内放送をオンエア中です。お楽しみに！

〔4月23日放送分〕  
今週も先週に引き続き、「三高大喜利・シーズン2」をお送りします。このコーナーでは、「さ・く・ら」から始まる言葉をつなげて文章を作ってもらいます。それでは早速1枚目のお葉書。ラジオネーム「すきつば少年さん」の答え。  
「さ・く・らまで寝てたんだけどく・じらがラップ歌ってる夢を見たんだよ」  
なかなかシュールな夢ですね。でも、いつ寝たのでしょ

うか：まさか授業中…なんてことはないですよ…。続いてラジオネーム「ライオンキング」さんの答え。  
「ライオンキングもいいけどクリムソンもいいなでもやっぱりラムネかな」  
ライオンキングさんは炭酸飲料が好きなのですね。しかし、炭酸はあまり体に良くないので飲み過ぎには注意しましょう。  
お葉書頂いた「すきつば少年」さん、面白い答えをあり

### ガンバレ新入生 三高&雲南の巨匠と呼ばれるその日まで

学級日誌から



がとうございました。さてこのコーナー、まだまだ皆さんからのお葉書を募集

しています。R・Nと答えを書いて職員室前のBOXに入れてください。皆さんからの

面白い答えをお待ちしています。

1年生各クラスの学級日誌は、日直が一巡するまで自己紹介が多いようです。ここでは、自己紹介以外のコメントを一つ紹介します(抜粋)。  
4月28日(月)  
フレッシュマンセミナーお疲れ様でした。とても良かったです。今日は久しぶりの授業で、日常が戻ってきた感じがします。あと、少し人助けができたので良かったです。英表英語表現の授業で人と仲良くなれたので嬉しかったです。明日は昭和の日ですね。休みですが、課題や予習復習など頑張りたいと思います。話しかけられると嬉しいの

で、暇があれば話しかけてみてください。  
4月30日(水)  
今日もインフルエンザで二人が休みだった。  
6、7限目はフレッシュマンセミナーのまとめをしました。7限目には(三瓶の時とは違うテーマで)マップ講座をしました。皆がどんなクラスにしたいか分かったのが良かったです。  
〔担任のコメント〕  
どんなクラスにしたいか、それぞれ意見や考えがあると思いますが、それを共有して一つの方向に走っていくことができればステキですね。

インターチェンジの町の高校は遠出も大胆に  
4月24日(木)  
上級生は



遠足に行ってきました

2年 福山高原バンパニー

3年 広島平和公園周辺

# 躍動!!



対松江工業戦。最終第4クォーター序盤に追いつき、主将の巨勢迅さん(背4、3年)がゴールを決めて、いったんは4点差をつけてリードする(写真)。

## 我慢の中盤 終盤に逆転するも一歩及ばず

対松江工業

バスケットボール



島根県1次予選

(4/12、13、県立体育館)

【男子】

▼2回戦

三刀屋 104 - 48 隠岐

▼ブロック決勝

三刀屋 77 - 50 大社

※ブロック決勝を勝ち上がった4チーム(三刀屋、松江西、出雲北陵、松江工業)と新人戦優勝の松江東が翌週の二次

予選会に出場。

【女子】

▼2回戦

三刀屋 46 - 72 出雲北陵

※二次予選進出ならず

島根県2次予選

(4/19、20、

松江市立体育館)

2日間で4試合の日程は、交代要員の豊富な強豪校に有利。本校は2日目に対戦した

## 中国大会県予選

バレーボール



(4/11、大社高校体育館)

▼予選グループ戦

三刀屋② - 0 益田翔陽

三刀屋0 - ② 明誠

※上位進出ならず

【男子】

※人数不足で出場ならず

剣道



(4/19、20、

島根県立体育館)

【男子】

▼団体2回戦

三刀屋 1 - ② 松江高専

▼個人戦

2名が3回戦進出

【女子】

▼個人戦

上位進出ならず

柔道

(4/19、20、県立武道館)

【男子】

▼団体予選リーグ

三刀屋 2 - ③ 松江高専

三刀屋 1 - 4 浜田

▼個人戦

上位進出ならず

松江工業・出雲北陵とは実力伯仲ながらも初日の疲れが大きく、松江工業戦では第4クォーターで逆転し、いったんは4点リードしたものの再逆転を許して逃げ切られてしまった。トーナメント戦による県

総体での奮起が期待される。  
【男子結果】  
三刀屋 68 - 85 松江西  
三刀屋 60 - 69 松江東  
三刀屋 63 - 58 松江工業  
三刀屋 45 - 50 出雲北陵  
※第5位

ソフトボール

(4/19、20、松江南高校グラウンド)

男子 V 9

【男子】

▼決勝

三刀屋 ⑥ - 2 安来

※優勝(9年連続33回目)

本日から山口市で開催される中国大会へ

【女子】

▼準々決勝

三刀屋 2 - ⑨ 大東

5回コールド

女子は初戦で敗れて中国大会への連続出場がストップした。昨年もこの大会で優勝を逃したものの、県総体では見事に優勝を飾っている。今回の敗戦をバネにして有終の美を飾ってもらいたい。

## 春の陣



卓球

(4/25、27、

益田市市民体育館)

【男子】

▼団体1回戦

三刀屋 0 - ③ 出雲工業

▼個人戦

上位進出ならず

【女子】

▼団体1回戦

三刀屋 0 - ③ 矢上

▼個人戦

上位進出ならず

雲南市内の七中学校で卓球部があるのは吉田中学校のみ。現部員は全員が高校から本格的に競技をはじめた。1、2年次の試合で勝ち上がるのは正直厳しい。高校入学後、今大会で初めて公式戦1勝をあげた3年生に拍手をおくりたい。



島根県高校春季野球大会  
中部地区予選

4/19(土) 浜山球場

野球

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
大東	2	3	0	1	0	3	2			11	11	4
三刀屋	0	1	0	0	0	2	1			4	6	2

大東/杉原、堀江 - 岩佐  
三刀屋/給下、藤原恭 - 藤原光



6回裏三刀屋の攻撃。代打佐藤平(2年)のレフト前ヒットで3塁ランナー石飛成馬(2年)が帰ってこの回2点目をあげる。

# 初戦突破ならず 序盤の失点重く



3年生がわずか3名と若いチームだけに、先取点を奪って勢いに乗りたいところだったが、先攻の大東の打線がなかなか、序盤から5点を追う苦しい展開となった。

三刀屋も2回裏にはノーアウト満塁と攻め立て、犠牲フライで1点を返したものの、後続を断たれて2者残塁。3回は大東の攻撃を零点に抑え、その裏の三刀屋はノーアウト1、2塁から送りバントを成功させて大東に詰め寄るチャンスだったが、あと一本が続きかずここでも2者残塁。結果的には、この2回、3回の好機を生かせなかったのが痛かったが、大東の主戦投手から3点を奪った攻撃力に今後も期待がかかる。

**ソフトテニス**  
(5/2、4、浜山公園)

【男子団体2回戦】  
三刀屋0・③出雲

▼3回戦進出  
飯塚悠斗・小池祐介(2年)  
渡部佑輔・木澤勝(3年)

【女子団体2回戦】  
三刀屋1・②松江高専

【女子個人】(出場96組)  
▼3回戦進出  
飯塚真子(3年)・北川真美(2年)

目標とした上位進出はならなかったが、団体・個人戦ともに、県総体での巻き返しを期待したい。

**陸上**  
陸上競技は4月中旬の出雲陸上以降、週末ごと一般(社会人)参加を交えたタフな大会日程が続く。最大目標の県総体に照準を合わせつつ、自己ベスト更新をめざしてもらいたい。

**出雲陸上**  
(4/19、20、浜山公園)  
陸上シーズンの幕開けをつげる吉岡隆徳記念第68回出雲陸上が行われ、一般を含む各種競技で本校からは4名が入賞を果たした。

【一般女子】  
▼3000m  
2位 松島菜々子(3年)  
▼800m  
4位 佐藤友奈(2年)

【一般男子】  
▼5000m  
6位 藤原夏望(3年)  
▼やり投げ  
6位 景山渉(2年)

**全山陰陸上**  
(4/26、27、松江市営運動公園)  
**島根陸上選手権**  
(5/4、5、益田市陸上競技場)

※入賞ならずも、自己ベスト更新多数。

**平成26年度(第52回)**  
**島根県高等学校総合体育大会**

■前期: 5/30(金)~6/1(日)  
陸上競技・柔道・卓球・サッカー

■後期: 6/5(木)~8(日)  
ソフトテニス・剣道・ソフトボール  
バスケットボール・バレーボール  
(本校関係競技分のみ記載。開催日は競技によって異なります。)

各競技会場(本校関係競技分のみ)

**ご声援をお願いします**  
めざせ!  
燃めく青春 南関東総体2014  
平成26年度全国高等学校総合体育大会

※ついでに、この地図で島根県内19市町村の位置を確認しましょう



# 10周年を迎えます/ 総合学科 & 雲南市制 90周年を迎えます/ 学校創立

## 三高新時代への胎動

地域でつなぐキャリア教育モデル事業実践校

## 地域とともに

シリーズ  
第1回

### 地域の仲間とチャレンジ in ラメル

吹奏楽

世界的ユーフォニアムプレイヤーの外圍祥一郎氏と読売日響のテューバ奏者・次田心平氏による新ユニット「ワーヘリ」による演奏会が4月29日の祝日、雲南市加茂町のラメルで行われた。公演の終盤には、雲南地域を中心に中学・高校でユーフォニウム・チューバを担当する吹奏楽仲間36名(本校4名)がステージと一緒に上がり、「アヴェ・ヴェルム・コルプス(モーツァルト作曲)」「小象の行進(ヘンリー・マンシーニ作曲)」の2曲を披露し、会場から大きな拍手が送られた。

公演後には、両氏との懇談の時間も設定され、吹奏楽部に貴重な助言をいただいた。



〈出演〉  
外圍祥一郎 (Euphonium)  
次田心平 (Tuba)  
金井信 (Piano)  
各校顧問の先生方

## 愛鳥週間 ポスター作品展

宍道湖グリーンパーク 5月18日(日)まで  
～ 愛鳥週間事業 ～



全国入選/高野さんの作品です

全国コンクール入選作品  
雲南市立木次中学校3年  
(出品当時)  
高野 寛子さん  
(現三刀屋高校1年)

野鳥ならはでの美しさを出したくて、目に力を入れました。メジロは羽の色が綺麗なので、そこを目立たせようと細かく描きました。自然の生きとした美しさをもっと出せるよう、これからも頑張りたいです。

—— 本日より愛鳥週間 ——  
平成26年度愛鳥週間用ポスター図案コンクールには、県

内52校から996点の応募があり、昨年8月に特選5点、入選10点、佳作30点、奨励賞30点の入賞作品がすでに決定していますが、本日からの愛鳥週間にあわせ、出雲市園町の宍道湖グリーンパークで特選・入選の計15点が展示されています。このうち、高野寛子さん(1年)が中学校時代に応募した作品は、県内から唯一全国コンクールで入選した力作です。実に丁寧な描かれていきますね。見事です。

# 5/28 (水) はチャレンジデーです

今年の対戦相手は「沖縄県南城市」です。  
人口41,762人

時間：午前0時から午後9時

場所：市内各地

内容：15分以上体を動かして、三高生も参加しましょう!



初めての皆さんにご紹介します  
チャレンジデーとは、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民参加型のスポーツイベントです。この日は、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の「参加率(%)」を競い合います。対戦相手に敗れた場合は、相手自治体の旗を庁舎のメインポールに1週間掲揚し相手の健闘を称えるというユニークなルールが特徴です。  
(笹川スポーツ財団HPより)

## お知らせ

10月4日に予定されている創立90周年式典の記念公演は、ご存じ映画監督の錦織良成氏(出雲市出身)にお願ひしています。島根を舞台とする次回作『たたら侍(仮称)』のキックオフイベントのためにKILLSHERO氏らを伴って帰郷した錦織監督が、雲南市制10周年を機に、三高生にもあらためてふるさとを見つめてもらいたいと『うん、何?』の鑑賞券をプレゼントしてくださいました。中間試験後の17日(土)、18日(日)の両日、雲南市内6会場での上演会場・時間を鑑賞券で確認の上、ぜひご覧ください(各会場で錦織監督の舞台挨拶あり)。

錦織良成監督作品「うん、何?」特別鑑賞券を三高生・教職員全員に配布



### 【三高の校訓】

誠実・剛健 礼儀・規律 勤労・勉勵

### 【三高の教育目標】 ※飯塚一雄(1期0B)校長時代に制定

1. 誠実を尊び、個人の尊厳を重んじ、自主的精神を持つ人間の育成
2. 真理を希求し、勤労を愛し、勉勵の習慣を持つ人間の育成
3. 社会について広く深い理解と健全な批判力を持ち、礼節を重んじふるさとを愛する心を持つ人間の育成

以下は近隣中学校の教育目標等です

- ▶A中学校(校訓) みずから進んで ともに考え やりぬく生徒
- ▶B中学校(学校教育目標) よく学び 心豊かに たくましく生きる生徒の育成 ~かしこく 豊かに たくましく~
- ▶C中学校(学校教育目標) 主体的に学び 心豊かで たくましく生きる生徒の育成
- ▶D中学校(学校教育目標) ふるさとに誇りを持ち 心豊かで たくましく生きる生徒の育成

## 三刀屋高校が目指す生徒像

1. 自分を大切にし、他人を思いやることのできる生徒
2. 自己実現に向け全力で努力する生徒
3. 試練に打ち勝つたくましさを持つ生徒
4. 社会に役立とうとする意欲を持つ生徒

↳キャリア教育を推進する三高が目指す生徒像(26年度追加)



五木田 勉 文／高塚 人志 監修  
(2003年 アリス館)



生きがいや幸せへの玄関口  
「役立ち感」を探る参考に!!  
編集長お薦めの一冊

— 本の紹介文より抜粋 —  
鳥取県立赤崎高校は全国からの視察者が絶えない中、他

私たちの事、ふるさとの事  
知るきっかけは?  
今でしょ!



『たたら侍』キックオフイベント(5月7日)の開催を告知したチラシ

広域合併によって誕生した雲南市は今年で市制施行10周年を迎えるが、旧6町村合併による市域は広く、同じ雲南

島根には、雲南には本物がある。それを伝えて欲しい。伝えるためにはまず、知らなくてはならない。知れば伝えたい。ふるさとを自慢し、ふるさとに貢献し役立ちたい。

## 斐伊川今昔物語

次号よりスタート

ふるさとの景観を育んだ斐伊川流域史から雲南の過去・現在・未来をみつめる

市民としてのアイデンティティをいかに醸成するかが今後問われることだろう。平成の大合併による他の市町も同じ悩みをかかえる。そうした中で迎えた「古事記1300年」や「出雲大社遷宮」は島根ブランドの輝きを全国に発信し、市町の枠を乗り越えた広域連携による取組が、各地元にも相乗効果を生んできた。

そんな今、出雲市出身の錦織良成監督はしまね三部作に続く初の時代劇映画『たたら侍(仮称)』の制作構想を発表した。たたら製鉄や石見銀山、北前船等が題材に考えられ、先月18日には撮影地に予定される安来市から大田市に至る県東部の7市町と県が連携した支援自治体連絡会が早くも結成された。

「たたら製鉄」は特に近世から大正期まで中国地方一帯で盛んだったものであり、現在全国で一箇所の高殿現役操業を続ける「日刀保たたら」の地元奥出雲町は、一昨年に

世界遺産登録をめざすことを表明した。お隣の鳥取県でも日野川流域を中心に着実に研究・市民的学習が進みつつあるほか、平成27年の世界遺産登録を目指す『明治日本の産業革命遺産九州・山口と関連地域』には、山口県萩市の「大板山たたら製鉄遺跡」も含まれる。今、「たたら」が各地域を結び付ける大きなキーワードとなりつつある。EXILEのHEROさんも応援するプロジェクトを、三高が傍観するわけにはいかない。次号からは、本紙でも「たたら」関連シリーズを構えたい。「たたら」が雲南のつながりを一層強くする好機を迎えている。

校との統合のため平成17年3月に閉校しました。

を続けるという授業です。最初は戸惑っていた生徒も、どうやって相手の心をつかみ

能力を高め生きる力の原動力になると語っています。高校生同士もこの活動の中でお互いの良いところを見つけられるようになっていくそうです。

この高校では、平成8年に全国で初めて人との関わり方を学ぶ「レクリエーション指導授業(人間関係体験学習)」を導入し、人間関係作りを学ぶための実践を続けました。

な中で子どもたちから「大好き」と言われ、高齢者からは手を合わせられる程に感謝され、自分に自信を持つようになっていきました。

ほかの人の役に立っているという実感こそが、自分を好きになり、人と話すのがうれしい、生きていてうれしいという思いにつながることを、あらためて教えられた気がします。

や気づきの体験学習で人間関係作りの基礎を学び、あわせて、保育園の園児や高齢者施設の人と3年間、毎週交流

指導の中心となった高塚人志先生はこれを「役立ち感」と呼び、コミュニケーション

保健体育の先生だった高塚人志先生は現在、鳥取大学医学部(米子市)の准教授。機会があれば、お話を聞いてみたいですね。まずは本書の一読をおすすめします。

《感想》：職に就くとは、社会に貢献する大きな場を得ることであり、自分も社会のために役立っている！必要とされている！と実感できる時、人は生きがいや幸せを感じ、それが自信につながり、自分のことが好きになっていくのではありません。そんなことも教えてくれたような気がします。(N・K)

# 三高90年物語



## 第1回 玄関前のユリノキ (三中・三高を見守り続けた木)



どの学校にも自慢の木があるものだ。本校の創立70周年記念誌には、校地の平面図に40種もの樹木が紹介してある。このうち、今も正面玄関前で凛たる存在感を示すのが「ユリノキ」だ(写真)。90年の歳月を見守り続けてきた本校のシンボリックな木と言える。

この木については各周年誌等のいたるところで触れられているが、平成9年3

月に刊行された70周年記念誌に寄せられた次の山根林氏(元雲南会会長)の言葉を借りて紹介したい。

…私ども旧制三刀屋中学校17期の同期生会を「ユリの木会」と名づけております。ところで皆様は「ユリの木」(通称ハンテン木、葉の形がハンテンに似ているのでこども呼ぶ)をご存知でしょうか。晩秋の一日、三刀屋高校の前庭を訪れたことのある方なら、亭々たる大木が陽に映えて、赤や黄色の実に豪華な彩りを見せているのに眼を奪われた経験をお持ちのはずです。「ユリの木会」という会名は、私の同期生であり、元三刀屋

高校校長であった景山繁光先生の提案によって決定いたしました。私どもは景山先生の説明を聞くまでは、「ユリの木」というあの木の名も、北アメリカ原産の木であることも、まして東京の迎賓館の近くの街路樹になっっていることも知りませんでした。すでに旧制三刀屋中学校一期生の方々が在学された頃から植えられていたそうですが、三刀屋高校の晩秋の彩りある風物として威容を見せるようになったのは近年になってからのこと。私は私どもの同期生会を「ユリの木会」と名づけたことに誇りを感じています。少なくとも三刀屋高校の卒業生でこの木

のことを知らぬ方はひとりもありません。松江北高校の卒業生が校庭の双松を誇りとしたように私たち三刀屋高校の卒業生にとつてはあの「ユリの木」が忘れられない木です。私は、同窓生の連帯感とは、他校の卒業生にとつてはなんでもないようなことでも本校の卒業生にとつてはある記憶を共有することから生れるものだと思うふうに思います。

【お願い】  
 本企画は、三高90年の歴史を体系的・時系列的に振り返るものではありません。各周年誌などが情報源に連載していきますが、卒業生の皆様からの投稿も大歓迎です。懐かしい写真もどしどしお寄せください。

次号は総体結果特集号です。各会場で応援する皆さんからの情報・写真提供もお願いします。皆さんのご協力によって紙面を充実させてください。(編集長記)



### 生徒会が

## 「ノーマメディアタイム」を呼びかけました

先月の生徒会長選挙で信任された和田翔さん(3年)が7日(水)の昼休み、全校放送で「ノーマメディアタイム」を呼びかけました。左はその時の放送原稿です。聞き漏らした生徒の皆さんも、あらためて提案理由を理解し、呼びかけに賛同してもらいたいと思います。ご家族の皆様のご理解とご協力もお願いします。

【和田生徒会長の呼びかけ】  
 先週の金曜日、試験発表があり、来週の月曜日から中間試験が始まります。  
 昨年度の後期生徒会執行部が、学年末試験にむけて、夜の9時から11時の間、スマートフォン、ケータイ、音楽プレイヤー、ゲーム機などのメディアを使用せず勉強を行うというノーマメディアタイムの実施を呼びかけました。

アンケートを集計したところ、だいたい60%の人は取り組めたが、残り40%の人は勉強以外のことをしたり、使用していたという結果でした。この結果を受けて、今度の中間試験に向けても、勉強に集中するためノーマメディアタイムの実施の呼びかけをしたいと思います。

普段部活などで、勉強に思うように時間が取れない人や、1年生でまだ学習習慣が身につけていない人は、是非、この機会にノーマメディアに取り組み、勉強に対する意識を高めていきましょう。

### 1年生は

## あなたは大丈夫？ ネットトラブルの事例から学びました

5/7



身近で危険な話題に、1年生も真剣に聞き入る(5/7)

近年、入学時からスマートフォンを手にする高校生が急速に増えてきました。本校も例外ではないようです。

そうした状況から、1年生は「産業社会と人間」の授業(2単位)の一環として、情報モラル教育に力を入れる「MILさんいん」(松江市朝日町)の長谷川陽子氏をお招きして、ネット社会の具体的なトラブル事例を紹介してもらいながら、スマホ等の正しい安全な使い方について学習しました。右の枠内における事項は、講演中で紹介されたハツとするようなネット社会の落とし穴や危険行為です。

「SNS何でも載せていい?」  
 ↓内容で学校や住所ばれる」  
 「友達の写真勝手にアップ」  
 ↓マナー違反必ず確認して」  
 「写真アップで住所知られた」  
 ↓位置情報はオフにして」  
 「ネットで知り合った人と会う」  
 ↓信頼できるか分からず」  
 「ネカマって?」  
 ↓男性が女性のふりしてネットに書き込む」  
 「スマホでネットゲーム無料?」  
 ↓通信料設定確認して」  
 「LINE」  
 ↓登録時に電話帳を送信しない」

被害者にならないように、そして加害者にもならないように、大人も含めて皆が正しく安全にネットとつきあうための知識・マナーと技術を身につけたいものです。